


unicef  for every child

(公財)日本ユニセフ協会協定地域組織 / 岐阜県ユニセフ協会

〒509-0197 岐阜県各務原市鷺沼各務原町1-4-1
生活協同組合コープぎふ1階
☎ 058-379-1781 Fax 058-379-1782
E-mail: gifuken@unicef-gifu.jp
https://unicef-gifu.jp/

ユニセフ通信

2024年9月 No.23



気候変動が子どもたちの身体と心をむしばんでいます。



© UNICEF/UNI585369/Khalid
パンジャブ州の気温が47℃を観測し、暑さを和らげるために父親と水浴びをする4歳のアイーシャちゃん(パキスタン2024年5月撮影)。



全国的な熱波に見舞われる中、日傘をさす親子(バングラデシュ2024年5月撮影)。



© UNICEF/UNI615027/Mobbs
「気候変動は子どもの権利の危機」と書いたボードを持つ子どもたちとユニセフ事務局長のキャサリン・ラッセル(バヌアツ2024年7月16日撮影)

全世界的に熱波が増加。 ユニセフの新たな分析によると、世界の子どもの5人に1人、つまり4億6,600万人の子どもがわずか60年前に比較してすくなくとも2倍以上の極めて暑い日に毎年見舞われている地域に暮らしています。

「子どもは小さなおとなではありません」
ラッセル事務局長がのべる。

「子どもたちの身体は、猛暑に対してはるかに脆弱です。幼い身体は熱くなるのが早く、冷めるのが遅いのです。赤ちゃんは心拍数が早いため、猛暑は特に危険であり、気温の上昇は子どもにとってより憂慮すべきことなのです。」

ユニセフは、各国首脳、政府、そして民間部門に対し、緊急かつ大胆な気候変動対策を実行するよう訴えています。

ユニセフの呼びかけ
温暖効果ガスの排出を削減し、持続可能性と気候変動に関する野心的な国際合意を緊急性をもって履行すること。子どもの命、健康、ウェルビーイングを保護すること。全ての子どもが環境保護の推進者になれるよう、子どもたちに育成機会を与え、教育、スキル、力を与えること。

気候危機の最前線に立たされる太平洋諸島諸国

太平洋諸島の島々の国々全体が排出している温室効果ガス量は、世界全体の排出量の0.1%以下です。しかしながら、バヌアツ、フィジーを含めた太平洋諸島の国々と、その子どもたちは、気候危機の最前線に立たされています。海面上昇、より強力で発生頻度が増えている暴風雨、高まる気温の影響から自分たちの未来を守るために行動を起こしている子どもたちがいます。

ユニセフの緊急支援募金は

各地の自然災害、難民・移民危機、食料危機などの事態に陥った国や地域に届く緊急の支援です。お寄せいただいた募金は、速やかにユニセフ本部を通じて現地事務所へ送り、子どもたちの支援にあてます。

現在は、 **ガザ人道危機** **ウクライナ** **自然災害** **シリア** **ロヒンギャ難民**
アフリカ栄養危機 **人道危機** の7つの緊急募金をお願いしています。

振込用紙備考欄に募金の目的とK1-210(岐阜県ユニセフ協会コード番号)を記入してお振込みください。

例えば 「ガザ人道危機」K1-210

募金の方法は ゆうちょ銀行からの振込のほか、クレジット・コンビニエンスストア・ネットバンキング払いもできます。

詳しくはこちらから 

2024年の活動の記録

2024年1月～7月

- 1月 9日(火) 第27回おんさい広場鷺山募金活動
- 1月10日(水) 関市生涯学習課募金受取
- 1月12日(金) 第1回運営委員会(オンライン)
- 1月15日(月) スタッフ会議/出前授業研究会
- 1月21日(日) 第30回とれたっひろば関募金活動
- 1月22日(月)～28日(日) ハートフルフェスタでユニセフ展示
- 1月25日(木) 各務原市立川島小学校6年生出前授業
- 1月28日(日) 三輪中学校PTAユニセフ講話
- 1月28日(日) 第23回おんさい広場はぐり募金活動
- 2月1日(木)～14日(水) メディコスユニセフパネル展
- 2月5日(月) スタッフ会議/出前授業研究会
- 2月6日(火) 聖徳学園高校募金受取
- 2月8日(木) 第1回役員会
- 2月9日(金) 岐阜市立長森小学校6年生出前授業
- 2月13日(火) 第28回おんさい広場鷺山募金活動
- 2月16日(金)～24日(土) メディコスNPOポスター展
- 2月18日(日) 第31回とれたっひろば関募金活動
- 2月21日(水)22日(木) 日本ユニセフ協会協定地域組織事務局長会議
- 2月25日(日) 第24回おんさい広場はぐり募金活動
- 3月 4日(月) スタッフ会議/出前授業研究会
- 3月10日(日) コーギふ職員全員集会会場募金活動
- 3月12日(火) 第29回おんさい広場鷺山募金活動
- 3月13日(水) 岐阜市立常磐小学校6年生募金活動
- 3月17日(日) 第32回とれたっひろば関募金活動
- 3月20日(水) コーギふ職員全員集会会場募金活動
- 3月31日(日) 第25回おんさい広場はぐり募金活動
- 4月 1日(月) スタッフ会議/出前授業研究会
- 4月 9日(火) 第30回おんさい広場鷺山募金活動
- 4月12日(金) コーギふ新入職員研修ユニセフ学習会
- 4月21日(日) 第33回とれたっひろば関募金活動
- 4月23日(火) 山県市退職公務員協議会使用済切手で募金受取
- 4月24日(水) わいわいウォークinなごや JICA中部訪問
- 4月28日(日) 第26回おんさい広場はぐり募金活動
- 5月13日(月) スタッフ会議/出前授業研究会
- 5月14日(火) 第31回おんさい広場鷺山募金活動
- 5月19日(日) 第34回とれたっひろば関募金活動
- 5月19日(日) 西郷公民館「あさがおで西郷を笑顔に」ミニユニセフ学習会と募金活動
- 5月21日(火)～6月18日(火) 中部学院大学関キャンパスでユニセフ展示
- 5月26日(日) 第27回おんさい広場はぐり募金活動
- 5月29日(水) 本巣小学校出前授業
- 5月30日(木) 弾正小学校出前授業

2月1日(木)～14日(水)ユニセフパネル展 メディアコスモス・ドキドキテラス

今年の展示テーマは「ユニセフってなあに？」
ユニセフはどんな支援をしているの？募金はどこに届くの？といった素朴な疑問にお応えする展示にしました。
ウクライナ・パレスチナガザ地区の子どもたちの状況もお伝えしました。
会場では小さなお子さんにもできる「SDGsかるた取り」をおこない、家族で楽しんでいただきました。



岐阜県退職公務員連盟山県市支部の皆さんから 使用済み切手をお預かりしました。

岐阜県ユニセフ協会としては直接おこなっていませんが、同じ協定地域組織である千葉県ユニセフ協会にお願いし、仕分け作業、換金手続きをおこないユニセフ募金になりました。



5月19日(日) 岐阜市西郷公民館でミニ学習と募金活動

「アサガオで西郷を笑顔に」企画に今年で5回目の参加です。
校区のインリーダーの子どもたちとユニセフ学習をおこない募金活動に取り組みました。



**6月3日(月)ボランティア学習会
「フィリピンの子どもたちを支援する活動に学ぶ」**

認定NPO法人アイキャンの吉田文さんのお話を聞きました。フィリピンの路上生活をしている子どもたちの存在、その子どもたちが教育を受け、自立することが出来るよう支援しているアイキャンの活動のこと、子どもたち自身が夢をもって活動している「カリエ」の活動を学びました。ユニセフと目指すところは同じです。いろいろな形、方法があり、協働できることが大いにあることがわかりました。



大学での展示も継続して実施しています。



中部学院大学
関キャンパス



中部学院大学
各務原キャンパス



岐阜大学
第2食堂内



岐阜女子大学
情報掲示コーナー



岐阜市立女子短期
大学生協内

若い人にも世界の
ことを知り、考え、
行動してもらいたい



JA農産物直売所での定期募金活動

7月までに計21回実施、寄せられた募金額421,281円。皆様の善意に感謝します。新しいボランティアさんの参加もありました。世界の子どもたちの笑顔を願って「できるときに」ご一緒に活動しましょう。

- 6月 3日(月) スタッフ会議/出前授業研究会
- 6月 3日(月) NPO法人アイキャン吉田文さんの話を聞く会
「フィリピンの子どもたちを支援する活動報告」
- 6月 4日(火)～7月2日(火) 中部学院大学各務原
キャンパスでユニセフ展示
- 6月 5日(水) 根尾学園出前授業
- 6月 7日(金) 席田小学校出前授業
- 6月10日(月) 真桑小学校出前授業
- 6月11日(火) 糸貫中学校出前授業
- 6月11日(火) 第32回おんさい広場鷺山募金活動
- 6月11日(火) コープぎふ通常総代会会場募金活動
- 6月11日(火)～7月19日 岐阜市立女子短期大学生協で
ユニセフ展示
- 6月12日(水) 本巣中学校出前授業
- 6月13日(木) 「ぎふしん愛の募金」贈呈式
- 6月14日(金) 日本ユニセフ協会協定地域組織学習講師研究会
- 6月16日(日) 第35回とれたたひろば関募金活動
- 6月17日(月) 土貴野小学校出前授業
- 6月19日(水) 一色小学校出前授業
- 6月24日(月) 真正中学校出前授業
- 6月27日(木) 外山小学校出前授業
- 6月30日(日) 第28回おんさい広場はぐり募金活動
- 7月 1日(月) スタッフ会議/出前授業研究会
- 7月 3日(金) 第2回運営委員会(オンライン)
- 7月 9日(火) 第33回おんさい広場鷺山募金活動
- 7月16日(火) 稲羽中学校募金受取
- 7月17日(水) 安八町立名森小学校6年生出前授業
- 7月21日(日) 第36回とれたたひろば関募金活動
- 7月22日(月) 夏休みユニセフ教室
- 7月23日(火) 岐阜市三輪北公民館夏休みユニセフ学習会
- 7月28日(日) 第29回おんさい広場はぐり募金活動
- 7月29日(月) スタッフ会議/出前授業研究会
- 7月30日(火) 第2回役員会

岐阜県ユニセフ協会役員 (2024年7月30日現在) 50音順敬称略

顧問	古田 肇	岐阜県 知事	理事	森 健二	岐阜商工会議所 専務理事
顧問	柴橋 正直	岐阜市 市長	理事	好岡 政宏	岐阜県信用金庫協会 会長
理事 会長	吉田 和弘	国立大学法人東海国立大学機構岐阜大学 学長	監事	内堀 泰作	内堀醸造株式会社 代表取締役社長
理事 副会長	櫻井 宏	岐阜県農業協同組合中央会 代表理事会長	監事	藤井 雅人	カネ井青果株式会社 代表取締役社長
理事 副会長	根崎 周一	生活協同組合コープぎふ 理事長	評議員	阿部 雄介	岐阜県PTA連合会 会長
理事 副会長	矢島 薫	岐阜新聞社 代表取締役社長	評議員	石田 秀治	岐阜大学消費生活協同組合 代表理事理事長
理事	有賀 信彦	中日新聞岐阜支社 支社長	評議員	小野 廣紀	岐阜市立女子短期大学生生活協同組合 代表理事理事長
理事	市川 篤丸	岐阜県国際交流センター 専務理事	評議員	木村 隆之	西濃医療生活協同組合 理事長
理事	梅村 高志	岐阜県小中学校長会 会長	評議員	子安 貞継	生活協同組合アイチョイス岐阜 理事長
理事	小野 悟	岐阜県高等学校長協会 会長	評議員	清水 清人	岐阜県酪農農業協同組合連合会 代表理事会長
理事	小野寺 茂樹	NHK岐阜放送局 局長	評議員	内藤 浩	岐阜県労働者共済生活協同組合 理事長
理事	久野 美智江	ガールスカウト岐阜県連盟 連盟長	評議員	長尾 安博	日本赤十字社岐阜県支部 事務局長
理事	児玉 幸夫	生活協同組合コープぎふ 専務理事	評議員	御宿 英明	岐阜県高等学校PTA連合会 監事
理事	佐藤 圭三	全岐阜県生活協同組合連合会 専務理事	評議員	森川 幸江	社会福祉法人 岐阜県社会福祉協議会 会長
理事	清水 康孝	岐阜県公立幼稚園・こども園長会 理事	評議員	山内 清久	全国農業協同組合連合会岐阜県本部 運営委員会会長
理事	三浦 英夫	日本ボーイスカウト岐阜県連盟 理事長	評議員	若森 信一	株式会社十六銀行地域創生部 部長
理事	村上 達也	岐阜県学校生活協同組合 理事長	顧問2名	理事18名	評議員12名 監事2名 合計34名
理事	村山 克美	岐阜県ユニセフ協会 事務局長			

今回は、県協会の役員団体であり、賛助会員としても支えてくださる岐阜県酪農農業協同組合連合会(県酪連)をご紹介します。

日ごろ当たり前のように飲んでいる牛乳ですが、牛のお乳がどのような過程を経て私たちの食卓に届いているのか、特に流通という視点で話をお伺いしました。



東濃牧場(恵那市)の放牧風景

ご存知ですか クイズ①

岐阜県には現在どのくらいの酪農家が存在するでしょうか?

- Ⓐ約50戸
- Ⓑ約70戸
- Ⓒ約100戸

現在、県内には約70戸の酪農家があり、乳牛を育て、搾乳作業は365日休むことなく行われます。県酪連はその生乳をできるだけ短時間で、効率よく、一滴も無駄にすることなく乳業者に届ける仕組み(集送乳コストの低減・需要調整力)と酪農家が存続し続けるための支援(価格交渉力強化など)を担っています。

2020年からの新型コロナ感染拡大のため学校が一斉休校になった時には牛乳業界にも大変な影響が出ましたが、国の補助金交付や各自治体への支援要請など、酪農家と乳業者を守るために奮闘されました。

ご存知ですか クイズ②

バター1トン製造する過程でできる脱脂粉乳はどのくらい?

- Ⓐ約800kg
- Ⓑ1トン
- Ⓒ約1.8トン

北海道の生乳は主に乳製品(加工品)向けに、その他都道府県の生乳は主に飲用向け(牛乳)として出荷されているそうです。(用途別すみわけ)

そして、乳製品向け生乳は輸入品と競合することから乳価が生産コストを下回るため、無秩序な輸入が国内需要に悪影響を及ぼすことがないように、国家貿易によりその種類、量、時期等を調整しています。

また、国内でバターを1トン製造するとその副産物の脱脂粉乳は1.8トンもできます。この栄養豊富な脱脂粉乳を活かす製品開発、利用拡大が課題でもあります。

牛乳の普及活動にも取り組んでいます。

6月1日は牛乳の日
6月は牛乳月間

6月1日(土)2日(日)には各務原市河川環境楽園で「牛乳まつり」をおこないました。県内産牛乳の試飲、模擬搾乳体験、クイズラリーをおこないました。



「世界の飢えた子どもたちに1日一杯のミルクを」

これは、1946年12月に国連でユニセフが創設されたときに掲げられたスローガンです。

日本も1949年10月からユニセフの支援が始まりました。その主な支援が学校給食で出された脱脂粉乳(ユニセフミルク)でした。その他には、衣類の原料となる原綿、医薬品、障がいがある子へのリハビリ用器具などもありました。ユニセフの支援は先の東京オリンピックが開催された1964年まで15年間続けられ、当時の金額で65億円に上りました。



今回話をお伺いした清水清人代表理事会長(左)と近藤昌伸常務理事(右)

岐阜県酪農農業協同組合連合会

〒501-3756 岐阜県美濃市生櫛439-2

電話:0575-46-8803 FAX:0575-46-8891

お気軽にお立ちよりください!

ユニセフ視聴覚ライブラリーの貸出し ユニセフの各種資料を取り揃えています。

岐阜県ユニセフ協会

〒509-0197 岐阜県各務原市鷺沼各務原町1-4-1
生活協同組合コープぎふ1階
☎ 058-379-1781 E-mail: gifuken@unicef-gifu.jp

★交通★
JR高山線
各務ヶ原下車(普通のみ停車)西へ徒歩8分
名鉄各務原線
名電各務原駅下車(急行停車)西へ徒歩8分

